

---

## 今月のお代官様2007～2010

[Blue sky～今月のお代官さま 2008](#)

[ハーモニー～今月のお代官さま 2009](#)

[We Can Fly～今月のお代官様2010](#)

### Someday somewhere ～今月のお代官さま 2007

#### 4月になれば～おめでとう！

新年度の4月。会社も学校も、この桜の季節に新しいことを始めます。年度目標、入社式に人事異動、今までの仲間が去り、新しい人が来て、出会いと別れが錯綜し人間模様ともいうべき地図が変わってきます。

二島クラブも、社会人チームを先頭に立って引っ張ってくれたエディーさん、合宿参加をきっかけに深く二島に関わってくれた越前さんが、会社の都合でお引越、結婚を機に東京へ転居していたサウスポーのマドンナも、ご家族まとめて関西に復活。

金曜の青年協会は、いよいよ市からの援助が無くなり、新生門真市と共に練習場所や会費の見直しを余儀なくされました。けれども、これから新しいものが生まれるかも知れません。

お代官様としては、来るものには、歓迎の気持ちを込めて「おめでとう！」去るものには、感謝の気持ちと輝かしい未来への展望を願い「おめでとう！」の言葉を捧げたい。そして、朝日放送ラジオ「おはようパーソナリティー 道上洋三です」でおなじみ、おめでとうの歌を捧げたいと思います。

おめでとう おめでとう♪ エディーさんおめでとう♪  
おめでとうの歌声が 手をつないで輪になって♪  
あなたの周りを 回っています♪  
こぼれそうになった幸せは♪ 赤い風船に 詰め込んで♪  
みんなの空に 飛ばして下さい♪ おめでとう越前さん♪  
この感激を いつの日も♪

平成19年4月2日記



#### 5月になれば～憲法の話

5月3日は憲法記念日。憲法と言えば、第9条「戦争の放棄」ですか？

いえいえ、憲法といえば、帝国憲法第3条から、「天皇は神聖にして侵すべからず」でしょ。

そもそも日本の憲法は、大日本帝国憲法(いわゆる明治憲法)のことを言うのであって、戦後成立した日本国憲法を示すんじゃないですよ。

現在、皆さんが憲法と呼んでいる日本国憲法は成立の段階に問題ありで、第二次世界大戦で敗戦した日本の国を守るため、天皇陛下が明治憲法第31条で規定された権利の一つである非常大権の発動として、ポツダム宣言の受諾と共に、マッカーサー草案の日本国憲法を受け入れただけなのです。

そして、平和条約が締結され平穏が取り戻された際に非常大権の発動が終結し、この時点で明治憲法が復活したとすべきですよ。

ゆえに憲法と言えば明治憲法。現在の日本国憲法は、明治憲法と矛盾しない部分において有効な基本法と把握すべきなんですよ。

「バカな話」してますか？

けれども、これは小森義峯教授の書物で記された『非常大権説』という立派な考え方です。この説は正しい？正しくない？

そんなことは別として、年に一度くらい、日本国民として、憲法について考えてみませんか？

(参考文献・小森義峯著「日本国憲法大綱」より)

平成19年4月25日記

## 6月になれば～門真市民プラザ

6月になれば、前期社会人リーグ戦の開幕です。

男子22部は17日。女子9部は24日。双方共に試合会場は枚方の松下電器スポーツセンター。実力の男子Aチームは選手を2名入れ替え、運のBチームは不動の5名で、最下部脱出を目指します。女子部も怖いアニキ達が相手チームをびびらせて、優勝を狙います。

“One for all , All for one”の気持ちを忘れずに、いつものメンバーと、いつもの絆で頑張りましょう。

また、青年協会も心機一転。毎週金曜日の練習場所を、古川橋のトポス裏の門真市立体育館から、門真団地バス停から西に700mの門真南高校跡地をリニューアルした門真市民プラザの体育館に移動。

施設使用料金の関係上、月会費1000円、ビジター500円という構成で、6月1日からバド好きの皆さんの支持と資金の続く限り練習会を続けていきたいと思っています。門真市民プラザの体育館は、今までと違って全部で6面のコートが取れます。この5月にオープンした施設だけあって、照明も床も整備されていて、将来は使用許可が取れるなら二島杯を開催してみたいと思う場所です。

なお、金曜日の練習は、使用許可の関係上17時30分から21時までを借りていますので、皆さんの集まる19時あたりまでのコートの活用方法も考えなければなりませんね。

てなわけで、二島メンバーを含めてバド好きの皆さん、金曜日の夜は、ぜひぜひ、門真市民プラザ体育館に御来場下さい！青年協会には、あなたの力が必要です。



### 7月になれば～怖い話

なんでこのクソ暑い時期に、体育館閉め切って、羽根打つんやろ？

毎年、そんな事言いながらバドミントンを続ける私たちは、マゾかも知れませんね。けど、この時期の練習を乗切った者が勝利を手にするのですぞ。

勝利すなわち生ビールという声もありますが、暑い時期は、怖い話でもして、気分だけでも涼しくなりましょうぞ！

真夏の夜のお通夜の話。しわくちゃだったけど、いつも優しくしてくれたお婆さんの大好物だった、箱詰めのおはぎ10個入りを仏前に捧げたのですが…

夜中の3時頃、ついお腹が減って、誰にも内緒でこっそりと、このおはぎを食べようとして蓋を開けたら、誰も手を付けてない状態で、本来10個あったはずのおはぎが…8個しか無い！！

怖くなって、ごめんなさいの気持ちでいっぱいになって、「南無大師遍照金剛～！」とお経を必死になって唱えてから、よ～く見ると…

消えたはずのおはぎ2個が、蓋にくっついていて話。ホント怖かった

そのお通夜でのお話。真夏の夜～気を取り直して、仏さんも暑いだらうと思って、棺桶の蓋を開けると…ギャーア！

棺桶の中に眠っていたはずのお婆さんが居なくなって、空っぽに！！

怖くなって、成仏してくれることを心から願って、「南無大師遍照金剛～！」とお経を必死になって唱えてから、よ～く見ると…

しわくちやの婆さんが、棺桶の蓋にくっついてた・・・っていう怖い話でした！！  
ゾクゾクってしませんでした、今回は？

こんなもん、怖いことないやろ！！(裏代官)

## 8月になれば～社会人

♪夏暑い～冬寒い～秋わから～ん、ハルマゲド～ン♪

・・・ってどこで笑って良いのかわからない吉本新喜劇の吉田ヒロさんのギャグですが、この人の凄い所は、小さな身体で舞台に登場するだけで、場内すべてをヒロカラーに染めてしまう事です。

二島クラブも平成のギャグマシーンみたいに、試合会場を「ふたしまカラー」に染めて存在感あるチームでありたいと願います。



8月は男子(5日)・女子(12日)共に社会人リーグ戦。女子部は、とんとん拍子で昇格。

今回も、箕面スカイアリーナにて、怖いアニキを筆頭に、メンチ切るは、恫喝するは、サミングするは？で、会場を「ふたしまカラー」に染めての9部優勝。苦しい戦いではありましたが、チーム力で勝利を手に入れました。

最下部の男子も、実力のAは予選を1位で箱抜け、運のBも実力？で2位箱抜け、両チーム揃って10月7日の決勝リーグに駒を進めました。

さてさて、この勢い何処まで続くのでしょうか？

日々の練習、9月30日の二島杯、そして、10月7日の社会人と続きますが、ふたしまバドミントンクラブが追い風に乗って躍進することを祈念し、吉田ヒロさんの天下を取った、誰もが知っているあのギャグでこのページを締めたいと思います。

「眉毛ポーン！」



## 9月になれば～Come on!

9月になれば、ワールドカップラグビーの開幕です。9月7日オープニングセレモニーに登場したのは、ニュージーランドの鉄人ロムー、オーストラリアのイールズ等の世界各国からやって来たラグビー界のレジェンドの皆さんです。

日本からは「世界のサカタ」の登場です。「世界のサカタ」といえば、なにわのモーツアルト、キダ・

タロー先生作曲の壮大なるあのメロディー“アホの坂田”に乗って「よいとせのこらせの、よいとせのせ」とコメディNo1の坂田利夫さんを想像しますが・・・

いえいえ、ラグビー界のレジェンドといえば、近鉄の名ウイング、ニュージーランドに留学し、オールブラックスまであと一步の実力、世界選抜のバーバリアンズにも選ばれ、そのジャージーを持って大阪体育大学の監督に就任され、ヘラクレス軍団と呼ばれるイケイケチームを育てあげた、坂田好弘先生のことですよね。

現在も「世界のサカタ」が率いる大阪体育大学ラグビー部のジャージーはこのデザインで、昨シーズンも、関西大学Aリーグ優勝という輝かしい記録を残しています。



ワールドカップ開幕戦は、開催国で現在北半球実力ナンバーワンのフランス対3大会連続開幕ゲーム登場のラテン系、キックを決め手とする人気チーム・アルゼンチンとの対戦です。

試合は大方の予想に反し、足首を狙って確実に倒すタックルと、抜群の防御、得意のドロップゴールは決まらなかったものの、ハイパン、タッチ、ペナルティーとキックが冴え渡り17対12でここの一番の集中力に勝るアルゼンチンの歴史的勝利という結末で、ラテンの血に魅せられました。

ファイナルは10月20日。エリスカップ(優勝杯)を手にするのは、どこの国でしょうか？

お代官様の予想は、ズバリ、ニュージーランド・オールブラックス。今大会のチームは隙なしの万全のチームと見ています。また、日本代表はどこまで善戦するのか、世界のラグーマンの祭典に向けて“Come on!”と応援します。



グローバルな話の後はローカルな話。

世界のラグーマンの祭典に対抗し、9月30日の門真では、地域のバドラーの祭典、第13回二島杯が開催されます。

門真市民プラザ体育館9時集合、定員は120名！「そんなに集まるわけ無いやろ〜！」と主催者自らツッコミを入れながらも、参加希望者大募集〜！

オープニングセレモニーには、二島のレジェンドの王子にケツ出してもらって、民宿破壊のメタボリック娘に暴れてもらって・・・なんて考えています。

ともかく、楽しい大会にしたいと思っています。

申し込み締め切りは9月23日。大会成功の決め手は、参加表明いただいたあなたの力かも知れません。

それでは、今回のテーマ同様、多数の皆様が来場いただけることを祈念すると共に、「頑張れ〜！」って意味も込めまして・・・

“Come on!”

## 10月になれば～昇部

10月7日。会長の誕生日でもあるこの日は、社会人大会男子22部の決勝トーナメントの開催です。

男子A・B揃っての決勝進出で、前週の二島杯に引き続いて男子部勢ぞろい。まずは、くじ引き次第でAB直接対決があるかもの抽選。残念ながら(?)初戦から直接対決は回避。

Bチームは、前週の二島杯で、肉離れのえちぜん(ちくぜん)さんが、この大会のために福岡より帰ってきてくれました。肘を痛めていた王子も試合中に足をくじいて、チーム満身創痍で望むも敗退。けれども、選手5人が全て揃って棄権しなかっただけでも価値ある敗戦だったと思っています。

Aチームは、初戦で苦しむもトーナメント全勝で優勝。

パパになって、練習不足もスキルの高い運動能力でカバーしたおともと君、今回少し若さが露呈してしまいましたが、クラブの将来を背負うヤングマンのあぶさん。

初戦第一セットを落としたこの二人にインターバルで、少しのアドバイスを与えただけでコンビネーションを復活させたスリッパさんは、皆の心の支え。二島の理性としてチームをスーパーバイズしてくれました。

高さのあるジャンピングスマッシュを打つクラッシュ改め「キューティクル君」は人気の的。コートサイドには、そのキューティクルが飛び交う姿を狙うパパラッチが並ぶ。

今回のトーナメントでは、ダブルス連勝で温存に終わりましたが、最後の砦・シングルの星は越後屋。後に控えていると思うだけで安心感がありますね。

そして、「One for all , All for one」の言葉通り全戦にわたって控えに回って皆を支えたスーパーサブは、立役者のゴリ。二島の秘密兵器は、最後まで秘密のままで終わりましたが、社会人リーグ登録当初からの発足メンバーの一人で今回は、リーグ・トーナメントを通してチームの審判を続けてくれました。

こんなメンバーで、22部優勝。すなわち3年越しの目標が達成しました。

さて、次は・・・

その日の打ち上げの席での会長の言葉は「試合だけでなく、アフターも楽しい魅力的なチームであり続けたい。」・・・勝つことも大切ですが、チームの絆も大切ですよ。

価値観それぞれで、何に喜びを見つけるのかはわかりませんが、『楽しい』と思える事を『二島クラブで』続けて行きたいですね。

おっと、お代官様としての大切な役割を忘れておったの！

では、優勝・昇部を決めたAチームと、それを支えたチームスタッフの面々に捧げる言葉にて、このページをめでたく締めたいと思っておる。

「ご苦労であった！」

## 11月になれば～トラバーユ

私事ながら、10月末日に19年間勤めた会社を退職しました。

定年退職ちゃいませ。また、リスやトラが暴れたわけでもありませんが、日本の建設業の蔭りの関係か、日々の業務が嫌になり、毎日が苦痛で他の生活全般に影響を及ぼしそうな気がしたので、辞表を提出しました。

有給休暇の消化を含めて、就職活動は神頼み。

京都は上賀茂神社、金閣寺に平等院。奈良は法隆寺、室生寺、橿原神宮。神戸は生田神社、高松の華下天満宮、大阪は水掛不動、地元門真の三ツ島神社などを訪問して就職祈願。



ウソかマコトか神頼みの結果、11月初日より技術者派遣の会社に就職決定。失業保険の給付も受けず見事トラバークに成功です。

新しい会社の研修は、神在月(旧暦10月を神無月と言いますが、神々が集まってくる出雲地方のみ、このように呼称します)寸前の出雲の現場に出動。

それって「八百万の神々に対して御礼せよ！」という意味かも・・・と考え、出雲大社で『二礼四拍手一拝』してきました。ほんと、ありがたや～！



また、門真市民プラザに場所を移して苦戦していた金曜日の青年協会も、オグシオ人気やテレビでの講座と、8月に開催した「ちょこっとバドミントン」なるイベントや、9月の「第13回二島杯」のおかげか、毎週バド好きの皆様が20名以上集まってくれる大盛況です。

会費についても、「会員は1000円(1月)、ビジター500円(1回)」としていますが、毎週これだけ集まってくれるなら見直しを考えなければなりませんね。これも神頼みの結果でしょうか？

以上の理由で、お代官様からお年玉！

平成20年1月は感謝月間としまして、金曜日の青年協会会費を半額、但し釣銭の関係もありますので、「会員は500円(1月)、ビジター300円(1回)」とします。

そして、一人でも多くのバド好きが、羽根を打つ喜びを味わっていただければ・・・余は満足じゃ。

皆様のご来場をお待ちしております。

平成19年11月11日 記

12月になれば～師走

今年も押し迫りましたね～なんて挨拶が飛び交う今日この頃。仕事、気分共に慌ただしいのですが、師が走ると書いて師走。

今回は、師匠の話をしてみたいと思います。門真の師匠と言えば誰もが知っているあの人が、現在お代官様が、地元や周辺都市で楽しく羽根を打てるのは、師匠が私をあちこち連れて歩いてくれたお陰です。

師匠の得意技は、ネットプレー～ネットの上に一度止まってコロリと落ちるドロップは神業と言うしか術はありません。これを見た私『さすが師匠！』と、称賛の言葉を投げ掛けると「僕はこれを狙ってるんや！」



FMハナコでも語った話ですが、師匠は年齢不詳で普段は真っ直ぐ歩けないのに、ラケットを握った瞬間、シャキッと背筋が伸びてコート内を走り回ります！

師匠にとって、バドミントンこそが不老不死の妙薬ではないのでしょうか…神様・仏様・〇〇様～！まあ、ほとんど仏様に近い状態という意見もありますが、年齢を重ねても楽しく羽根を打てる…と言うのは、憧れでもあり目標としたい人ですね。

また、師匠の奥様もお元気で、敬意を込めて『ごりよんさん！』と呼ぶと「いややわ～あ！こいさん言うてよ！」『こいさんって、いったい全体何歳ですか？』『32歳よ～！』『しわしわで、シワ(4×8)32ですか～！』

などと悪態ついてますが、ご夫婦仲良く楽しくバドミントンされる姿は私達にとってのお手本であり、尊敬に値する姿ですね！

師匠！これからもお元気で、よろしくご指導下さいね！

平成19年12月19日 記

## 1月になれば～雑煮

「丸餅？あん餅？1個？2個？」

これは、香川県の正月の風景。雑煮にはめる(入れる)お餅の好みを聞く奥様の台詞です。雑煮に『あん餅』？…関西に住む私たちにとって常識的な雑煮は、白味噌仕立てのお味噌汁で、里芋・大根・豆腐などを入れて丸餅を煮込むものですが、これほど地域、家庭によって違いのあるものはありません。かつおだし・あごだし・鶏ガラスープ？赤味噌・白味噌・しょっつる・おすまし？丸餅・角餅。焼いて入れる・煮込む？島根県の出雲地方では、いわゆる「ぜんざい」イコールお雑煮なんて噂も聞

きました。共通することは、何らかの汁ものでお餅を食べることですね。独身時代は、インスタントラーメンに焼き餅入れて、これが我が家の雑煮なんて言っていました。

ゆえに、香川県の『あん餅雑煮』も素晴らしい食文化で、薄切りにした大根と人参あたりを具材に、いりこだしに少し甘めの白味噌を溶いて、大福みたいな薄皮じゃない肉厚のある『あん餅』を煮込んで、最後に青のりをパラパラと振ればできあがり。白味噌とあんこは相性が良くて、新しい発見で・・・くせになるかも知れませんよ。



さてさて、1月になれば、社会人大会。二島クラブ出動です。バドミントンも雑煮みたいに打ち方、攻め方、好きなショットと個性それぞれですが、ラケットで羽根を打って21点先取という共通の目標に向かって突き進むゲームです。いずれにせよ、チーム一丸となって“ヴィクトリー”目指して頑張りましょう。ダブルスのペアも少し組み合わせを変えるだけで、新しい発見があるかも知れませんよ。

新しい年の幕開け、今年もいつもの練習会に、社会人大会、二島杯から合宿に宴会。昨年同様、楽しい事をいっぱいやって行きたいですね。二島クラブ所属の皆さん、関係者の皆さん、そしてこれから関係者になってみたいって思っている皆さん、またこのホームページを開いたバド好きの皆さんが「楽しい」って思える2008年になることを祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます

本年もよろしくお願いいたします。

二島お代官様でした

(平成20年1月6日記)



## 2月になれば～Victory(ヴィクトリー)

2008年2月10日、社会人大会、男子Aチーム21部優勝。Bチームは22部5位に終わりましたが、女子チームに続いてヴィクトリーを手にしました。男子チームは、秘密兵器のゴリが大会初出場で弾けて大活躍。女子チームでは民宿破壊のメタボリック娘が成人式出席を辞退して勝利に貢献しました。実はジャストフィットの振袖を探すのが困難だったという噂もありますが、メンバー各人が自分の役割を果たしてくれたという意味で、素晴らしいヴィクトリーでした。

“One for all, All for one”

そんな言葉の似合う「ふたしまバドミントンクラブ」(次回大会よりふたしまBCと標記しますが)であり続けたいと思っています。



さてさて、勝てば欲が出てくるもので、「もっと上手になりたい、もっと勝利を手にしたいたい！」なんて声が上がりましたので、月に一度くらいは勝ちにこだわる練習会を開催してみたいと思っています。当然、コーチは、チームの心の支えとしてみんなを引っ張るスリッパ先生で、3月の最終土曜日の朝の練習会をこれに充てたいと思っています。出席する人数次第ですが、二島小学校体育館で3面あるコートのうち1面を使用する予定ですが・・・

チーム練習会にする？名前はヴィクトリー会？月イチ開催？・・・細かいことはこれから参加できるメンバーと共に構築していきたいと思いますが、

「次は何を打つべき？」「有効なショットは？」・・・等々プレーに対する疑問を持って集合しましょう。

今回はチーム限定としますが、以降は皆さんのご意見をうかがってみたいと思っています。

テーマはVictory・・・勝利目指して、頑張りましょう！



そして、第14回二島杯は近日開催予定。今回は、二島スクランブルという新形式を採用し、賞品としてオグシオグッズ(?)も準備しました。

こちらテーマは「Victory」・・・詳細は2月末発表予定です。

平成20年2月11日 記

### 3月になれば～ありがとう

♪さわやかに恋をして さわやかに傷ついて さわやかに泣こう♪  
♪さわやかに夢を見て さわやかにあきらめて ただひとり泣こう♪  
♪いつも心に青空を いつも優しい微笑を♪  
♪さわやかに見つめあい さわやかに信じ合う 今日明日もありがとう♪



これは、ホームドラマのルーツ的な番組「ありがとう」のテーマソングで、お代官様が子供の頃、水前寺清子さんと山岡久乃さん親子の人情味溢れる台詞の数々も理解することなく視聴していたのですが、妙にこの歌が印象深く、つい口ずさんでしまいます。

3月になれば、お役所的な考えから、「年度末」で4月からの一年を振り返り、事業報告や決算、これからの一年を展望し、事業計画や予算を組みます。

あれこれと思い出して「ありがとう・・・」

新しいこと考えて「ありがとう・・・」

なんて、つぶやきながらそんな作業を続けます。

二島クラブは、社会人昇格、神鍋合宿、二島杯も13回は門真市民プラザ進出。この3月20日に14回を開催。

アクロバット(土曜の朝の練習会)も安定した参加者の確保と、メンバーの小学生が自分の意思でバドミントンのできる私立中学校に進学。

青年協会も門真市民プラザに練習場所を移し、「ちょこっとバドミントン」なるイベントで会員増。危機感を持って臨んだ一年も無事クリアしました。ただ青年協会の英会話は、休会。英会話・バドミントン・テニスの3つで頑張ってきましたが、活動の見直しを考えなければなりません。



個人的には、激動の一年で、建設業の営業マンから、エンジニア(?)に転職。先日も、佐賀県唐津市から、長崎県鷹島町を結ぶ橋梁の緊張作業に励んできました。仕事としては、長大橋に命を加える作業で、一本一本に心を込めます。また、家族にも感謝。年度末の旅行は京都府京丹後市網野に蟹ツアー。部屋に露天風呂のある旅館で羽根を伸ばしてきました。



そして、このホームページのコーナーも「4月になれば」から12回を無事終了。平成19年度に「ありがとう」を捧げ、20年度に望みを託して「ありがとう」ですね。

平成20年3月11日 記

[Blue sky～今月のお代官さま  
2008](#)

Back

[戻る](#)

---